

(仮称) 大久保町第2トンネル本体工事 事故原因と再発防止策について

1. 工事概要

工事名：(仮称) 大久保町第2トンネル本体工事

工事発注者：茨城県

工事受注者：安藤ハザマ・菅原・中井特定建設工事共同企業体

2. 事故概要

トンネルの掘削作業において、碎いた岩（ズリ）を重機（油圧ショベル）で除去する作業を行っていたところ、後退してきた重機に作業員（一次下請業者）がひかれて被災した。

3. 主な事故原因

- あらかじめ定められた作業時のルールが、現場の作業員に対して徹底されていなかった。
- 重機の作業範囲内への立入禁止措置が行われておらず、作業員が重機の作業範囲内に立ち入った。
- 重機のオペレーターが作業再開時の合図（クラクション等）の実施や重機後退時の後方確認等を怠った。

4. 主な再発防止策

●受注者

- 作業時のルール徹底のため、日々の現場巡視における確認・指導や、模型等を用いた作業手順の確認
- 作業における安全管理を専任で監視する「安全作業監視員」を追加で配置
- 安全補助装置として、重機と人の接触防止を目的とした人感センサーの導入、
トンネル坑内においても作業員間相互の連絡を十分に取れるようインカムを着用

①作業時安全ルールの徹底



②安全作業監視員の配置



③人感センサー導入



●発注者

- 再発防止策の徹底の指導、再発防止策の実施状況確認、作業手順の抜き打ちチェック